



遠藤れい子ひまわりレポート

○遠藤れい子事務所 〒940-0052 長岡市神田町3-1-3
☎ 0258-32-1741 fax 0258-32-6443

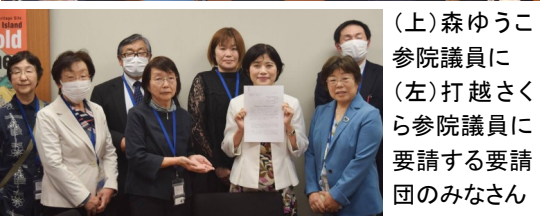


「新潟県の医療を壊すな」と厚労省要請



4/14 厚労省要請で発言する遠藤れい子

4月14日、地域医療を守る新潟県実行委員会と新潟県社会保険推進協議会(社保協)は総務省と厚生労働省に対して、「新潟県の医療を守れ」と要請しました。近年、新潟県内の医療体制が縮小、後退しています。県民が医療から遠ざけられています。各地の厳しい現状を率直に国に伝え、医療体制の充実を求めました。



(上)森ゆうこ参院議員に
(左)打越さくら参院議員に
要請する要請団のみなさん

実行委員会事務局はじめ、遠藤れい子前県議、滝沢繁十日町市議、大平恭児魚沼市議が参加しました。省庁要請後、新潟県選出の全ての衆参国會議員執務室を訪れ、「地域医療体制の充実を」と要請しました。

《要請事項》

一、4兆円の医療費削減を撤回し、診療報酬の引き上げをおこなうこと。

一、病床削減を止め、公立・公的病院への財政支援を緊急に行うこと。

一、住民の意見を反映できるよう地域医療構想調整会議の運営要綱を見直す

こと。

一、新潟県は医師偏在指標が全国45位と深刻な医師不足である。医療を担う医師の確保をはかること。

一、すべてのケア労働者の大幅賃上げと適正な人員配置ができるよう、ケア労働者の賃上げと財政保障を講じること。

武器輸出解禁の閣議決定に断固抗議する！

高市早苗内閣は、武器輸出は非戦闘目的に限定する『5類型』の方針を撤廃し、「殺傷能力をもつ武器輸出を全面解禁する」閣議決定を行いました。

「死の商人」国家になるな！

日本平和委員会は「殺傷武器輸出の全面解禁、次期戦闘機の共同開発と輸出を止めてください」「署名を呼びかけ、10万人を突破しました。」

長岡地区5・3憲法大集会

5月3日 13時～山本五十六記念公園
集会とパレード。平和憲法を守ろう！

クラウドファンディングにご協力ください
全国各地で憲法大集会開く
2026 憲法大集会
5・3日
開演 11:00 / パレード 14:30
有明防災公園
東京臨海広域防災公園



署名は、「メイド・イン・ジャパン」の武器が他国の人々の命を奪うという、日本国憲法の平和理念とは真逆の道だと指摘。日本が「死の商人国家」へと転落することは許せないと訴えています。